

これまでの検討経緯

これまでの経緯 (1)官民連携による整備について

- バスターミナル(1～2F)は官民連携手法、上層部は民間事業として合築整備を検討します。
- 市場調査及び企画提案の公募結果を踏まえ、上層部の民間施設の事業者及びバスターミナルPPP/PFI事業者の公募・選定を、それぞれ実施します。

整備の検討方針

- ① 官民連携手法の検討
[バスターミナル(1～2F)の整備、維持管理・運営等]
- ② 民間事業(施設)としての合築整備に係る検討

中・長距離バスターミナル

民間施設検討

～導入機能～
商業、医療、教育、
交流施設等

2 F
バスターミナル
待合空間

1 F
バス乗降場

待合空間のイメージ

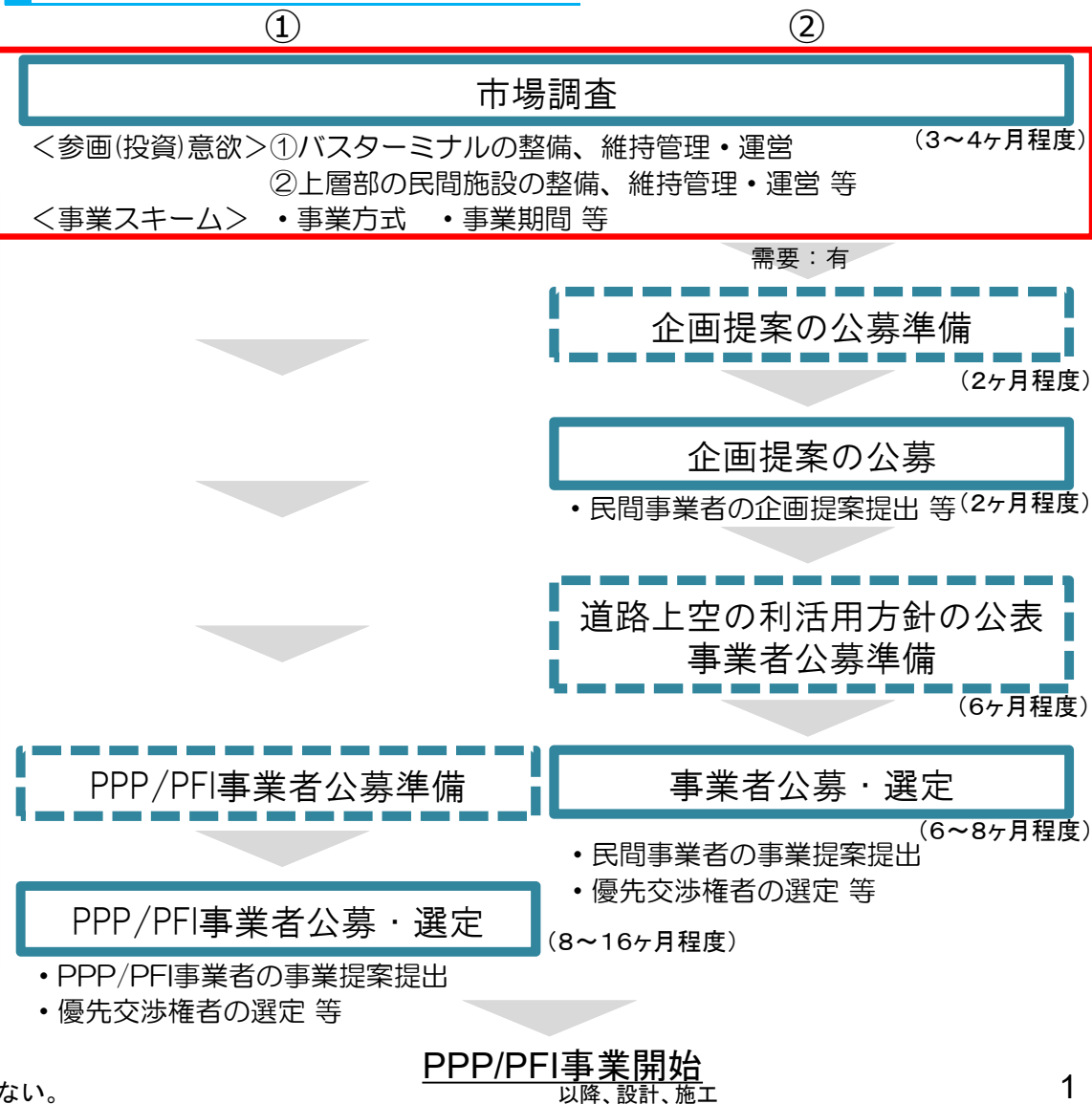


バス乗降場のイメージ



今回の議事内容

官民連携による整備フロー



※バスターミナルPPP/PFI事業者と、上層部の民間事業者は、必ずしも同じではない。
 ※整備フローにおける各段階の期間については、過去の類似事例及び「官庁施設のPFI事業
 手続き標準(第1版)」(平成15年10月国土交通省大臣官房官庁営繕部)を参考に作成
 ※整備フローは官民連携の1事例であり、本事業の整備フローとして決定しているものではない。

これまでの経緯 (2)市場調査の実施フロー及び企画提案の公募事例

- 市場調査は、各団体事務局へ協力依頼を行った後、WEBアンケート／ヒアリングを実施します。
- 本事業への参画(投資)意欲、導入機能に対するニーズ、事業スキームの妥当性等を把握し、「企画提案の公募」の募集要領に反映します。

市場調査の実施フロー

実施主体:新潟国道事務所
調査委託先:パシフィックコンサルタンツ(株)

1. 各団体事務局へ協力依頼

各団体に属する民間事業者へのWEBアンケートの周知依頼、各団体事務局としての本事業に対する関心を確認する。

2. WEBアンケートの実施

参画(投資)意欲、導入機能に対するニーズ、事業スキームの妥当性等について意見収集する。

3. ヒアリングの実施

WEBアンケートの結果に基づき、参画(投資)意欲があり、バスターミナルやPPP/PFI事業等に実績がある民間事業者に対して、回答意図、事業スキームの改善点等を詳細に聴取する。

4. 結果のとりまとめ

WEBアンケート、ヒアリングで聴取した意見を集計・分析する。
(新たな疑問が生じた場合、補足ヒアリングを実施する。)

「企画提案の公募」の募集要領に、導入機能、事業スキーム等を反映

企画提案の公募事例(国道15号 品川駅西口駅前広場整備)

○募集要領

第1章 募集の目的

- 1.事業計画策定の経緯
- 2.企画提案の目的(以下は、抜粋)

導入機能→ターミナルの実現にあたっては、次世代モビリティ等の技術開発やターミナルの機能要件など、具体化すべき課題が多いため、民間事業者に対し、最新技術の動向、モビリティネットワークの形成、施設運営ノウハウ等に関する企画提案を求め、また、ヒアリング及び対話を通じて得られた知見等に基づき、事業提案公募の技術仕様の作成を行うことを目的としています。

3.事業者公募までのスケジュール

第2章 企画提案の募集 ← 導入機能、事業スキーム等

- 1.応募資格 ← 民間開発の事業規模等
- 2.実施手順
- 3.応募手続き

第3章 ヒアリングの実施について

- 1.ヒアリング方法
- 2.事業者ヒアリングの実施

第4章 Summary

出典:国道15号 品川駅西口駅前広場整備
次世代型交通ターミナルの実現に向けた企画提案について

事業スキーム等

企画提案の各テーマ・内容

テーマ:		「次世代モビリティ」の技術動向と「次世代型交通ターミナル」の運営について	
提案内容	技術動向	・現状における次世代モビリティの開発動向、機能、性能等	
	利用のあり方	・様々な利用者が次世代モビリティを利用することを想定した、利用のあり方とシェアリングイメージ	
	次世代型ターミナルの概念	・将来に渡るモビリティ技術の進展を考慮しつつ、次世代型ターミナルとして考慮すべき事項とその概念	
施設運営手法	・施設運営上、必要となるサービス内容の考え方と民間ノウハウを活用した運営のあり方		
テーマ:		時代とともに進化する「次世代モビリティネットワークの形成」について	
提案内容	ネットワークの形成	・次世代型ターミナル、商業、業務、交通施設等と連携したモビリティネットワークの形成について	
	提供すべきサービス	・鉄道、路線バス等の各交通モードとの連携による乗り換えの円滑化、他サービスとの連携による利便性向上の考え方とイメージ	
	訪日外国人対応	・訪日外国人の利用支援の考え方、支援イメージ	
運営手法	・民間ノウハウを活用した運営のあり方と課題		